

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-6-3
空港・港湾の維持・整備

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 港湾空港課長 土肥美実 電話番号 0852-22-5228

事務事業の名称	港湾整備事業		
目的	(1) 対象	国内・海外への貨物の移出入を行うため港湾を利用する県内企業	
	(2) 意図	貨物の運送や荷役が安全で効率的に行えるようにする。	
事業概要	物流拠点となる県管理港湾において、より安全で効率的な利用に向けて、岸壁や防波堤等の港湾施設を整備する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	岸壁の整備率	目標値		93.6	93.6	94.4	96.0	%
	式・定義	岸壁の実施済み延長/岸壁の計画総延長	取組目標値						
			実績値	90.9	94.2	94.2			
			達成率	-	100.7	100.7	-	-	%
2	指標名	防波堤の整備率	目標値		75.6	80.4	87.7	95.0	%
	式・定義	防波堤の実施済み延長/防波堤の計画総延長	取組目標値						
			実績値	67.7	72.4	81.3			
			達成率	-	95.8	101.2	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	2,185,787	3,735,696
うち一般財源(千円)	389,436	370,409

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 岸壁整備は概ね計画どおり進捗している。
- 防波堤整備は目標を概ね達成しているものの、岸壁に比べ整備率が十分でないため、荒天時の港内静穏度が低く、利用企業に負担を強いている状況。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 浜田港の防波堤整備により航路泊地の静穏度が向上しつつある。(東側200mは完成済み、西側200mの内、180mが暫定完成)
- 松江港の老朽化した岸壁の改良工事がH28年度に完成。
- 河下港では、H27年度から防波堤海上工事に着手。
- 江津港では、導流堤の改良工事にH29年度から着手。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 浜田港においては、防波堤整備により航路泊地の静穏度が向上しつつあるが、荒天時には荷役作業が難しい場合もあり、通年での荷役作業が可能となるよう利用者から要望されている。
- 河下港においては、H27年度から防波堤海上工事に着手したが、ライフラインとなるLNGの基地や建設資材の荷役等があり、荒天時の船舶入出港に制限を受ける現状を早期に解決してほしい(港内静穏度の確保)と要望されている。
- 江津港においては、導流堤の沈下により入出港船舶が横波を受け、危険な状況となることから、早期の導流堤改良を要望されている。

②困っている状況が発生している「原因」

- 港湾施設整備には、多額の事業費を要するため、優先順位を付け整備を進めているが、特に水深の深い位置に設置する防波堤や、延長が長い導流堤の整備には予算が必要となり、進捗率が上がらない状況。

③原因を解消するための「課題」

- 限られた予算の中、コスト削減を図り、計画的な施設整備を行っていく必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 限られた予算を有効に活用した港湾整備を行うため、コスト削減を図りつつ、優先順位を勘案して整備を進める。